

豊岡市出石伝統的建造物群保存地区

伝統的町家外観詳細図集の作成

出石まちなみ設計士会

## (1)事業名称等

【事業名称】 豊岡市出石伝統的建造物群保存地区  
出石伝統的町家外観詳細図集の作成

【実施団体】 出石まちなみ設計士会

【事業経費】 ￥1,435,000-

## (2) 事業の目的

「文化財建造物の維持のための修理設計技術や修理施工技術の普及」

1. 伝統的町家の外観の調査・図化の作業を通して技術者としての知識向上を図る。
2. 図集としてまとめ、修復工事の手引き及び技術の普及・継承に役立てる。

# (3) 事業活動の内容

## 1. 伝統的町家デザイン研修会の開催

「一般市民と共に出石町家の意匠構成の勉強及び伝建修理の工法の検証」

日時 7月21日(土)

場所 弘道地区公民館

### ・講演会

「町並みを形成している出石の特徴」

講師 国立明石工業専門学校教授  
八木雅夫氏

### ・伝建修理事例発表討論会

23年度修理事例の担当設計者及び建設業者による修理方法の発表、その方法について皆で批評し良い方法を検討する。

伝統的町家デザイン研修会  
出石重要伝建地区選定5周年記念事業～

平成24年7月21日(土) 午後1時30分～4時

- 講演会 「町並みを形成している出石の特性」(仮題)  
講師 国立明石工業高等専門学校 教授 八木雅夫氏
- 発表会 「これまで実施した修理方法の検証と成果」
- 参加対象者 出石まちなみ保存会会員(伝建地区内住民)  
保存会登録施工業者、その他どなたでも

【会場】 弘道地区公民館 多目的ホール  
(豊岡市出石町内町1番地 豊岡市出石総合支所2階)

【主催】 出石まちなみ設計士会 【後援】 豊岡市・豊岡市教育委員会

【協賛】 出石まちなみ保存会 【参加料】 無料

【申込み】 不要 ※駐車場利用希望には「緑の駐車場券」を送付しますので、出石まちなみ設計士会事務局まで申し込みください  
(宛先)〒668-0283豊岡市出石町住405 維福岡建築事務所内(電話)0796-52-8117 FAX0796-52-2206

※この事業は、文化庁から「NPO等による文化財建造物の管理活用事業」の委託を受けて実施します

# 事業活動の内容 2

## 2. 町家実測調査及び図面作成

- ・ 事前に調査方法と作図のルールを決め、調査物件の選定を実施。
- ・ 会員23名が1班3人の7班に別れ、1班が約3物件を担当し23物件の実測調査を実施。

一斉調査 7月28日(土) 補足調査は各班で適宜

- ・ 各班の調査物件を各班の中で内容検討しながら図面をまとめる。



# 事業活動の内容 3

## 3. 図集の作成

第1回 図面のまとめ及び資料作成後中間報告会・ワークショップの開催

日 時 9月15日（土） 場 所 宵田会館

当会会員20名＋大工・工務店8名

第2回 図面のまとめ及び編集検討会

日 時 10月12日（金） 場 所 弘道地区公民館

当会会員18名＋推進委員現地指導

編集委員会の開催

11月30日、12月25日、1月26日の3回 事務局にて



# 事業活動の内容 4

## 4. 図集発刊記念 出石・町家フォーラムの開催 「町家デザインの美しさを未来に伝えたい」

日時 3月10日(日)

場所 福住地区交流センター

### ・講演会

「出石城下町の町家と町並み」

講師 京都府立大学大学院教授  
大場 修 氏

### ・パネルディスカッション

「町家の美しさをどのように  
未来に伝えるか」

パネラー 大場氏・一般市民・  
大工棟梁・当会役員の4人

コーディネーター 兵庫県教育委員会  
文化財課課長 村上裕道氏

伝統的町家外観デザイン集 発刊記念  
**出石・町家フォーラム**  
～町家デザインの美しさを未来に伝えたい!～

入場無料 申込不要

平成25年 **3月10日(日)** 13時30分～16時(観場13時)

福住地区交流センター(出石グランドホテル南側)  
豊岡市出石町福住400-1 TEL.0794-52-4112

基調講演 「出石城下町の町家と町並み」  
京都府立大学大学院 教授(工学博士) 大場 修 氏

パネルディスカッション 「町家の美しさをどのように未来に伝えるか」

パネラー	氏名
	大場 修 氏 (京都府立大学大学院教授)
	小畑 正明 氏 (出石まちなみ保存会副会長)
	田中 正 氏 (大工棟梁)
	西谷 尚 氏 (出石まちなみ資料士会長)
コーディネーター	村上裕道 氏 (兵庫県教育委員会文化財課長)

主催: 出石まちなみ設計士会  
協賛: 出石まちなみ保存会・出石城下町を活かす会・兵庫ヘリテージ機構福住地区・兵庫建築士会豊岡支部  
協力: 豊岡市・豊岡市教育委員会

## (4) 事業の成果

### 1. 伝統的町家デザイン研修会

- 一般市民・町なみ保存会役員・建築業者（工務店・大工・左官・建具職人）など51名の参加
- 出石伝建地区と他の伝建地区との違い並びに出石町家のデザインの特徴を改めて多くの参加者と共有認識することができた。
- 伝建指定を受ける以前の景観形成の補助金で行なったそれらしい修理や建替え工事の認識が、伝建地区では結果的に障害になることが判った。
- 出石本来のデザインも判らずに、安易なデザインで修理してはならないことが、職人や有識者の指摘により認識できた。





# 事業の成果 2・3・4

## 2・3. 町家実測調査及び図面作成及び図集の作成

- ・調査・図化の作業を通して、町家の意匠構成を自分のものとして学習することができ、技術者としての知識向上が図れた。
- ・会員同士が協力し合い調査し、統一した表現で図集にするため、仕上げた図面を批評し合い、また現地調査するということの繰り返りで、見る力・表現する力が団体として向上した。

## 4. 出石・町家フォーラムの開催

- ・参加者 一般市民・町なみ保存会・建築関係者など100～150名を予定。
- ・図集の意義と発刊を広くPRする。
- ・出石の町家の魅力と未来への技術の伝承を発信する。



## (5) 事業実施後の課題

1. 今回の調査で目に付き図集に取り上げられなかった特徴ある町家のデザインを今後どうするか。
2. 今回学んだ本物の出石のデザインに対し、景観形成の補助金で行って来たそれらしい工事と人々の認識をどうして変えていくか。



## (6) 今後の展開

1. 職人など専門的な建築従事者を対象に講演会・研修会を開催し、私達の今回の成果を広め、出石伝建地区の整備に寄与していく。
2. 継続的に修理工事の見学会を開催し、広く一般市民や関係者などと一緒に、伝建修理の方法と技能の向上に努める。
3. 市民に広くデザイン集を知ってもらい、施主自らが我が家の修理はこの様にできないかと言えるように啓発していきたい。
4. 出石伝建地区には、漆喰で塗り込められた町家は少なく、繊細な格子戸の狭い間口の町家が大半で、常に火災の危機にさらされている。デザインの話しと共に、防災の重要性も啓発し仕掛けを考え実践していく。



## (7) その他

1. 今回図化した23物件の内8物件が空き家、その中でも3物件が放置されて倒壊の危機さえ感じられた。そんな町家を図面として記録保存ができたことは大きな成果と考える。
2. 伝建地区内は空き家が目立ちますます増える傾向にある。空き家は屋根の維持が一番大切で、修理工事とは別に環境整備とか称して、簡単な維持修理をNPO等が手掛けられる制度があれば良い。

